

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群
	対象学科・専攻	情報工学科
システム工学特論 (System Engineering Topics)	担当教員	幸田 晃 (Kouda, Akira)
	教員室	情報工学科棟4階 (tel 42-9094)
	E-Mail	kouda@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 学修単位[講義] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(80分)〕 × 15回	
〔本科目の目標〕 秘匿方式の歴史的流れに沿って、暗号理論概要及び各方式とその強度を理解する。		
〔本科目の位置付け〕 数学的基礎知識が必要。本科目を修得した場合、システムセキュリティの秘匿部分の基礎となる。		
〔学習上の留意点〕 毎回の授業内容をよく理解し、次回内容との関連性について把握しておくこと。このためには講義終了後のレポート、演習問題、宿題等80分以上取り組むこと。また疑問点があれば、その都度質問すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 秘匿概説	7	秘匿体系形式を理解できる。スペクトラム拡散通信、数学的表現、や用語の定義を理解でき、事前準備として文字の出現特徴を把握する事ができる。
2. シーザ秘匿系	8	組立、翻訳、解読できる。
後期中間試験	1	授業項目1～2について達成度を確認する。
3. ビジネル秘匿系	6	組立、翻訳、解読できる。
4. 単文字鍵語秘匿系	4	組立、翻訳、解読できる。
5. その他の秘匿系	4	ランダム秘匿系、鍵語秘匿系、公開鍵系について概要を理解できる。
後期期末試験 試験答案の返却・解説		授業項目1～5について達成度を確認する。 各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕なし		
〔参考書・補助教材〕コンピュータによる暗号解読入門 松井甲子 森		
〔成績評価の基準〕 定期試験成績(40±10%) + 小テスト・レポートの等(80±10% = トータル最高点) 学習態度(20%の中にはレポート提出遅れなどを含む)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕3-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕3-3		
〔JABEEとの関連〕(d)(2)a)		